



三好市の次世代へ向けて 林業施策を募集

国の取り組み

国において平成21年に緊急雇用対策本部が設置され、その「緊急雇用対策」の一環として「森林・林業の再生に向けた中長期的な政策の方向を明示し、森林・林業を基軸とした雇用の拡大を図る」とされました。これを受けて林野庁から、昨年未だに、『森林・林業の再生にむけた改革の姿』として「森林・林業再生プラン」が公表されました。

この中で、森林の持つ二つの機能を最大限利用した雇用拡大を図るとともに、10年後には木材自給率50%以上を目指すと言われています。



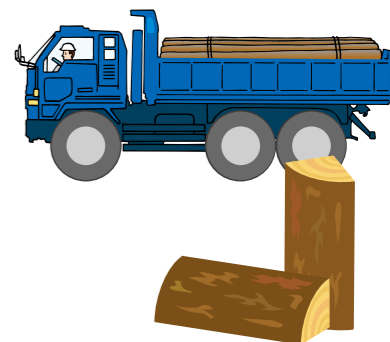
森林の持つ二つの機能

【森林資源としての機能】

日本の木材需要は、景気悪化などに伴う住宅着工数の大幅な減少や、薪・炭の燃料としての利用もほとんどなくなり、落ち込んでいます。木材価格についても、ピーク時の3分の1以下まで下落しており、林業は長期にわたる投資に見合った収入

【森林の公益的な機能】

日本の森林率は、世界でもフィンランドに次いで第2位の67%です。この広大な森林の持つ自然の力は、すごい資源であり大切な宝です。森林には生物多様性の保全、地球環境の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健レクリエーション、文化などさまざまな公益的な機能があります。(イメージ図参照)



を得ることが困難となっています。一方、我が国の人工林は40年生以上が6割を超え利用可能な資源が量的に充実してきています。また、輸出の丸太輸出規制や新興国などの木材需要の増加などに加え、木材加工技術の向上から、国内製材業者は国産材への原料転換を加速させています。

このような中、生産販売事業においては、生産性の向上による低コスト化を進める必要があります。

三好の山を考える

三好市においても、豊富で豊かな森林を活用した次世代にふさわしい山づくりを展開していきます。そのため森林・林業再生プランの趣旨・内容についてご理解いただき、林業振興に関わる施策案を個人、地域、グループ、企業など皆さまから募集します。

募集締切

平成23年11月30日

テーマ

- ・素材生産の拡大について
- ・製材加工施設の拡大について
- ・B材C材および山地残材の利用促進について
- ・流通体制の拡大保全について
- ・公益的機能の利活用(バイオマス・エネルギー)について
- ・環境保全・国土保全・災害対策について

提出方法

所定の様式に記入して提出してください。記入用紙は三好市分庁舎林業振興課および森林組合に準備してあります。

(提出先)

三好市林業振興課および森林組合

お問い合わせ先

三好市林業振興課
電話 72・7618



出典：水をはぐくむ森林の働き(発行財水利科学研究所)

森林・林業の目標

これまでの森林・林業政策を抜本的に見直し未来にふさわしい森づくりのためには、

- ①適切な森林施策が確実に実行される仕組みを整えること
- ②広範に低コスト作業システムを確立する条件を整えること
- ③担い手となる林業事業者や人材を育成すること
- ④国産材の効率的な加工・流通体制づくりと木材利用の拡大を図ること

について段階的、有機的に推進し、10年後には木材自給率50%以上を目指すと言われています。

都会からやって来る小・中・高校生に三好市で「ほんもの」の田舎体験を!

体験教育旅行の民泊受入家庭を募集しています

「体験教育旅行」って何?

見る観光が主役だった修学旅行先も時代とともに様変わり。学校教育の現場では、田舎の人と生徒との交流から、人が人に学ぶ機会となる「体験教育旅行」が求められています。生徒は、普段体験することができない、農山村のありのままの生活、農作業、地域の人たちとの交流を通して、人として成長し、心の豊かさを感じ「生きる力」を育んでいきます。



どうして受入家庭を募集しているの?

三好市・東みよし町・美馬市・つるぎ町の2市2町の地域内で、体験教育旅行の受け入れに取り組んでいます。平成24年度も、約20校を予定しています。より多くの学校(児童・生徒)を、できるだけまとまった範囲(地域)で受入れるために、また、受入れ家庭の希望(日程など)に沿った受け入れを可能にするために、民泊受入家庭を拡大したいと思っています。



お悩み解決! 疑問にお答えします

「もてなすのは大変…」▷生徒をお客様扱いして「お接待」する必要はありません。布団敷き、掃除、食器洗いなども生徒にさせ、家族の一員として、各家の生活習慣(ルール)で受け入れてください。

「何を体験させたらいいの?」▷家庭でやっていること(畑の手入れ、収穫、家業)、技(そば打ち、竹細工)、食事づくりなどをいつもの場所・やり方で一緒に体験します。準備や片づけも体験に含めてください。

「家の設備や衛生配慮が心配」▷清潔を心がければ狭いお風呂、汲取式のトイレは問題ありません。生徒用の寝室、布団は色柄が揃ってなくても構いません。受け入れ前には衛生安全講習も実施しています。

「経費は…」▷民泊家庭には、受入生徒数、体験指導の内容に応じて規定の対価が支払われます。民泊家庭が負担する経費としては保険料や手数料などがあります。



受入家庭の皆様の声

▷野菜が好かなくて言った子が美味しいと言って野菜を食べてくれた。後からお母さんから電話があって、野菜嫌いの子だったのに田舎の野菜は美味しかったと報告してくれたと喜んでいました。

▷受け入れた子どもが、お別れ式の時に「帰りたくない」と言って泣いていた。私も感動して一緒に泣いてしまった。

▷何とんでも、帰ったあとで年賀状などが届くのがうれしい。一生懸命に書いてくれたのが伝わる。ほなけん、また受け入れてみようかという気持ちになる。

お問い合わせ先

一般社団法人そらの郷(電話 76-0713)

前納報奨金制度 廃止のお知らせ



平成24年度より、個人市県民税（普通徴収分）、固定資産税の前納報奨金が廃止となります。

【廃止の主な理由】

- ①前納報奨金制度は、昭和25年の戦後の混乱した社会、経済情勢のなかで、「税収の早期確保」や「納税意欲の向上」などの目的で創設されましたが、60年以上が経過した現在では納税環境も大きく変化し、金融機関窓口、コンビニ収納、口座振替での自主納付の浸透により、その目的は達成されたこと。
- ②市県民税を給与や年金から引き落とされている特別徴収納税者（納税者の7割以上）は制度の対象にならないため不公平な制度となっていること。
- ③県内市町村においても、半数以上の自治体がすでに報奨金制度を廃止しており、美馬・三好地域では本市以外はすでに制度を廃止していること。
- ④厳しい財政状況に対応する必要があること。

全期前納は引き続きできます

報奨金は交付されませんが、制度廃止後も「納付書」または「口座振替」により全期分を一括して納めていただくことはできます。すでに「口座振替」で全期前納をされている納税者の方で、前納報奨金廃止後に期別納付をご希望の方は、後日市役所から送付する書類により変更することができません。

制度の廃止につきましてご理解をいただき、今後とも納期内納付にご協力ください。

市税のお支払いは口座振替が便利です

一度ご契約いただければ、指定した口座から自動的に納税する便利な制度です。ぜひご活用ください。

便利 納期ごとに金融機関などへお出かけいただく手間がなくなります。

【確実】

うっかり納め忘れることがなくなります。

【安全】

納税のために現金を持ち歩く必要がなくなります。

口座振替できる税目▼市県民税（普通徴収）・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税

取扱い金融機関▼阿波銀行・徳島銀行・四国銀行・徳島信用金庫・高知銀行・四国労働金庫・阿波みよし農業協同組合・郵便局・ゆうちょ銀行

申し込み方法▼三好市内および三好郡内の取り扱い金融機関窓口または三好市役所税務課・各総合支所に備え付けの申込用紙に記入し、前記金融機関窓口へ提出してください。

コンビニでも市税の納付ができます

金融機関や市役所窓口に加えて、コンビニエンスストアの営業時間内であれば、日本全国、土日や夜間も納付ができます。手数料はかかりません。ただし、次の場合はコンビニエンスストアでは納付できませんので、納付書の裏面に記載されている金融機関等で納付してください。

※納付書に記載されている納期限（コンビニエンスストア利用可能期限）を過ぎた場合

※納付書1枚の合計金額が30万円を超える場合

※納付書の左下部にコンビニ納付用バーコードが印刷されていない場合

お問い合わせ先

三好市役所税務課 資産税係（☎72・7614）

市県民税係（☎72・7615）

ごみの処理費用はいくらかかるの？



皆さんは、三好市から排出されるごみの処理にどのくらいの費用がかかっているか、考えたことがありますか？
今月号では、平成22年度のごみ処理費用について紹介します。

ごみの処理と経費

三好市で発生するごみは、「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」については、清掃センター（池田町西山）でそれぞれ、焼却、破碎処理された後、最終処分場（池田町大利）で埋立処分されます。
資源物については、リサイクルプラザ（池田町大利）へ搬入され、それぞれリサイクルされます。
平成22年度の三好市から排出されたごみ処理に要した経費は、7億1,846万3,859円でした。1日あたりで算出すると約196万9,000円

平成22年度三好市におけるごみ処理経費

ごみ処理費用	
総処理費用	7億1,846万3,859円
1日あたり費用	約196万9,000円
年間1人あたり	約23,100円
年間1世帯あたり	約52,500円

【ごみ処理費用の主な内訳】

清掃センターでの処理費用（みよし広域連合への負担金）、収集運搬に伴う経費（人件費・委託料・収集車両維持費）など。
※1日あたりの経費は総処理費用を365日で除した金額、年間1人あたりおよび年間1世帯あたり経費は総処理費用を平成23年3月末の人口および世帯数で除した金額。
※平成23年3月末人口31,103人、世帯数13,696世帯

ものお金が毎日ごみの処理に使われている計算になります。1年間1人あたりの経費は23100円、1世帯あたりでは52500円でした。

ごみの減量にご協力ください

清掃センターのごみ処理施設は、稼働から30年近くが経過し、老朽化が著しく修繕にかかるコストは年々増加傾向にあります。ごみの量が多ければそれだけ施設にかかる負担は大きくなり、故障も頻繁に発生します。そうなる前に修繕のための費用が必要となりますので、ごみ処理経費も当然増えることとなります。

「物を大切に最後まで使う」「食べ残しを出さない」といったごみを出さない無駄のない生活を心掛ける、ごみはできるだけリサイクルするなど、できることから始めましょう。そういった生活がごみの減量、ごみ処理経費の軽減へとつながっていきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

三好市環境課
☎72・3436

祝日の ごみ特別収集

祝日のごみ特別収集を次のとおり実施します。

【収集日】

11月3日（木・文化の日）

11月23日（水・勤労感謝の日）

【収集する地域】
燃やすごみ

【収集する地域】

右記の各曜日の燃やすごみ収集地域

【注意】

①朝8時までに、お出しください。

②燃やすごみ以外のごみは出さないでください。

③燃やすごみ収集日が月曜日・金曜日以外の地区は収集いたしませんので、収集地区以外の方はごみを出さないでください。



お問い合わせ先

三好市環境課
☎72・3436



9月7日に、清掃センターでスプレー缶の爆発事故が発生しました。幸い作業員に怪我などはありませんでしたが、不燃ごみ処理施設の一部が爆発の影響で、多大な被害が出ました。
スプレー缶、ボンベ類は大変危険なごみで、正しく出さないと重大な事故になる恐れがあります。スプレー缶、ボンベ類は正しい処理をして出して頂きますようご協力をお願いいたします。

スプレー缶爆発事故がありました

スプレー缶、ボンベ類は正しく出してください

スプレー缶、ボンベ類の正しい出し方

①缶の底または側面に穴を開けて、ガスを抜き切る。
（注意…最後まで使い切り、火気の無い屋外で行ってください）



②ビニール袋、レジ袋など中の見える袋に入れ、燃やさないごみの収集日に出してください。

